

日本指圧専門学校同窓会



会 報

第 10 号

発行年月日 平成3年3月31日
 発 行 者 石垣 惟一
 編 集 者 上野 欣二
 日本指圧専門学校同窓会
 東京都文京区小石川2-15-6
 〒112 TEL 03-3813-7354
 題字 山内貞四郎



浪越徳治郎先生の半身像を左に「黄金の腕」ブロンズ前に立つ浪越徹校長先生

ご挨拶

日本指圧専門学校校長

浪越徹

早いもので平成二年四月に校長に就任して以来、一年がたちました。この二月二十七日には私の還暦を祝う会に大勢の方々がいらして盛大にお祝いをしていただきまことにありがとうございます。心からお礼を申し上げます。私もこれを節目といたしまして、これからも指圧の道に新しい境地を開くために努力してがんばります。

さて指圧の道ということで私が感動したことばがあります。それは故高村光太郎先生の詩の「道程」の中にある最初の一節です。僕の前に道はない 僕の後ろに道はできる。私は幸運なことに、昭和27年に当時、私の大学の学友が岩手の花巻の出身で、光太郎先生と懇意なことから彼に案内されて東京の中野のアトリエでお会いできたのです。先生はそのとき彫刻「手」を制作されていましたが、そのときの感激は今でも忘れられません。彫刻の手の原形がほぼできていましたが、特にその手指の開きかた、優雅な形は強烈に今でも私の脳裡に焼きついてます。その後お会いすることなく私は翌年に渡米し光太郎先生は昭和31年に73才でお亡くなりになりましたが、先生の作品は永遠に人々の心に残り、目に輝いていることでしょう。

おわりに光太郎先生の「道程」の詩文をのせて私の挨拶にかえさせていただきます。

「道程」

僕の前に道はない

僕の後ろに道はできる

ああ自然よ

父よ

僕を一人立ちにさせた広大な父よ

僕から目を離さないで守る事をせよ

常に父の気魄を僕に充たせよ

この遠い道程のため

この遠い道程のため



ご挨拶

浪越学園理事長

浪越徳治郎

同窓会の皆さんお元気ですか、私もお蔭で元気で頑張っています。昨年、学校創立五十周年記念行事に、同窓会の皆さんには、絶大なご協力を頂き誠に有難うございました。

お蔭さまで、記念行事も恙なく終了し、立派な銅像が学校の正面に建立され、人目を惹いています。祝賀パーティーでは、外国のお客さんも多勢参加され、千名を超える参加者で盛り上りました。ほんとうに有難うございました。

現在、地球の上には五十億の人類が生存して居ります。その多くの人類の中で、日本人として、日本の国土に生まれ、育ち、指圧の道を選び、日本指圧専門学校を卒業して、同窓

会員となられたのであります。深き因縁と云わねばなりません。この絆は、固く、固く結ばれています。

友情は、悲しみを半減し、喜びを、倍加する――

よき、友を持つことは、大きな財産です。同窓会員は、血の通った、よき同志であり、よき、親友でなければなりません。

日本指圧専門学校の同窓会は、実に円満に運営されています。役員の方々が心を合わせ、足並みを揃えて運営されている姿に、満腔の敬意を表する次第です。

来年、平成4年11月3日は、私の88歳の誕生日です。世間並みに「米寿」のお祝いをします。同窓会のご賛助をお願い致します。

徹校長先生の還暦祝う会

一家の繁栄に喜びの徳治郎先生



日本指圧専門学校校長 浪越徹先生は二月二十七日還暦の誕生日を迎えられた。この佳き日、父君浪越徳治郎先生の肝入りで、午後六時からホテル・ニューオータニ「芙蓉の間」で「浪越徹校長先生還暦を祝う会」(発起人代表・石垣惟一先生)が催された。

参加者が日毎にふえ当初予定の二倍の一八一名、祝金一三名という盛況ぶりだった。

来賓祝辞では衆議院議員・前郵政大臣 深谷隆司先生が駆けつけられて挨拶。記念品贈呈では当日参加者から徹校長が羊年であるのに因んで本金箔仕上、作品名「金羊」(平成元年文化勲章受賞・富永直樹先生作)のブロンズが贈られた。

浪越 徹校長先生還暦を祝う会



▲衆議院議員・前郵政大臣 深谷隆司先生から祝辞を受ける浪越徹校長夫妻。

第二部祝宴では徳治郎先生が満面笑みと喜びの声で登壇。私はよい息子、孫、嫁に恵まれて幸せ……と出席家族を一人々々呼名。全員が登壇。一族郎党に囲まれて有難いことです。来年の米寿の祝いはよろしくと一家の繁栄と喜びをステージ一杯にぶちまけ、講談「日本海海戦」を一席披露。オリンピック応援団長・山田直穂さんが軍艦マーチに合わせて軍旗をふって一層盛り上り午後八時半「還暦を祝う会」は盛会裡に終了した。

同期会「燦々会」として発足

椿山荘で三十三期卒業式

述べられた。

十二時四十分から隣室「鳳凰の間」で謝恩パーティーが開かれ、教職員から卒業生へ抽選でプレゼントが贈られるなど和やかさを添えた。

つづいて午後三時から「雄子の間」で有志参加立食のA B合同クラス会。平成三年三月、三十三期生をもじって同期会を「燦々会」と銘名して結成。会長に田代龍介氏ら次の十名の世話役が紹介され四時三十分パーティーを散会した。

(敬称略)

▽燦々会役員
▽会長 田代龍介
▽副会長 片桐彰一
▽庶務 内城礼子、須加良司
▽会計 竹之内久代、赤堀かよ子
▽監査 佐藤良一、川名良恵
▽顧問 立野忠義、坂本進

平成二年度、日本指圧専門学校の第三三期(一二三名)、臨床研究科第四期生(一二三名)の卒業式が三月二日(土)午前十一時から挙行された。

司会は浪越和民事務局長。浪越徹校長から卒業証書が授与され一人々々固い握手が交わされた。

賞状授与では▽皆勤賞 一三名(二年間八名、一年間五名)▽精勤賞 一三名(二年間三名、一年間一〇名)▽功労賞 一〇名(学級委員)▽優等賞 二四名(平均九二点以上)。なお今年是最優秀者に東洋療法学校協会賞も授与された。▽精励賞 一〇名(月一度の飯能市老人ホーム・埼玉飯能病院の指圧実習・奉仕活動精勤者。つづいて校長式辞ならびに浪越徳治郎理事長先生、石垣惟一 同窓会会長からそれぞれ祝辞が

名会長、山内貞四郎先生の後を受けて会長を仰せつかりました。私、浅学非才、誠に不束者で会長の任に当る者ではありませんが今回皆様のご支援を頂きました上は、前会長のご方針を心とし、皆様のご指導、ご協力をいただきながら、老骨にむち打ち、「誰もが愛する同窓会」をモットーに努力し、職務を全ういたしたく存じます。どうぞよろしくお願い申しあげます。

同窓会の運営につきましては何れの学校も多少むづかしいことがあるようです。本学に於きましても、例えば総会の集りが少ないとか、住所移動がはげしく整理に困難をきたすとか、或は卒業期同志の横の繋りはあるようですが、縦、地域の繋は欠けているようです。学校を卒業すれば当然、同窓会員であり、母校はその人の一生にかかわりを持ちます。母校を愛し、母校の発展を願わないものはないでしょう。どんな小さな事でも同窓会員として母校のために手をかしましょう。扱て私は昭和38年、六期生として卒業し、元来高校教師であったためか、請われて4月より講師として残りました。昭和48年3月公立学校定年退職に当り専任（副校長）となり現在に至っており、多勢の方々にお会いしました。この間、皆様ご承知の通り、母校はすばらしい発展を遂げました。

ご挨拶

同窓会会長 石垣惟一

- 1、校舎建設（五階建ビル）既に古くなりました。増改築（新設）
- 2、指圧普及、国際大会をはじめ海外セミナー等により世界の指圧に発展、十ヶ国語に翻訳された本「シアツ」が国際語になっています。
- 3、専修学校に昇格、日本指圧専門学校となる。入学資格、高卒2年
- 4、学校法人、浪越学園誕生。かねてよりの念願が法人として実現、磐石の基盤ができる。臨床研究科の設置。
- 5、創立50周年記念大会、同窓会主催により盛大に挙行し、創立者浪越徳治郎先生の胸像を前庭に建立する。
- 6、「あはき法」の一部改正に伴い、学制改革、入学資格高卒3年、新カリキュラムによって、教科に大巾な変化がありました。
- 7、これに伴う校舎の改善等、考慮中である。

母校のこのような事に関与して来た私は、会長としてこれらの事を支えてこられた同窓会の皆様に心から御礼、感謝申しあげると共に、今後益々のご協力を賜り度く願います。最後に大きな夢を申し上げれば、いささか飛躍しないでもないが「大学（短大）」への昇格があります。学校当局は勿論、同窓会一丸となり夢に向って邁進したいものがあります。



同窓会会長に 石垣惟一先生 平成二年度総会で

日本指圧専門学校同窓会の平成二年度総会が六月十日（日）茗溪会館で開催された。今総会は三年毎の役員改選期に当るうえ、浪越徹先生の校長就任（会則により同窓会名誉会長に推戴）を祝う会も併せ行われた。

役員改選では、山内貞四郎会長の高令を理由とする退任希望と吉田克広先生の逝去、小出忠志先生

▲挨拶する石垣同窓会会長の退任希望で副会長2名の欠員があり、新役員は別稿のとおりきまった。つづいて日本指圧専門学校講師、山県久美先生の「関節疾患のリハビリテーション」と題する講演（要旨四面掲載）があった。

新役員・幹事 敬称略

- ◇会長・石垣惟一（新）
- ◇副会長・藤井正弘（留）兼幹事長、片岡弘昌（留）、上野欣二、田代和平、山下茂幸（以上三名新）
- ◇監査・山口忠治（留）、小川清（留）
- ◇副幹事長・小林秋朝
- ◇幹事・木下誠、浪越孝、田中盛夫
- ◇会計・青木宏、副会計・高橋和子
- ◇書記・浪越満都子、山田明信
- （学院）定祐寅一、松本一雄
- （1期）持木光子、相沢君江
- （2期）鈴木啓造
- （3期）稲場啓護、青木雅美、鈴木孝雄
- （4期）杉野華太、石原博司
- （5期）和田常雄
- （6期）齊藤嘉子、佐藤岩治郎
- （7期）広村貞雄、大谷信子
- （8期）鈴木林三、赤沢えい
- （9期）丸井孝雄、四條静江
- （10期）高野正之、小出忠志
- （11期）川上金造、工藤てる
- （12期）田村親郷、柳沢光男
- （13期）田端哲郎、佐々木重雄
- （14期）小峯俊夫、若杉ミイ
- （15期）小林彦太郎、相沢金雄
- （16期）浪越満都子、高橋和子、前田フサ子
- （17期）小林秋朝、戸来みや子、広村いと
- （18期）木下誠、新多喜治
- （19期）青木宏、佐藤玄祥
- （20期）舟島正八、伊藤節子
- （21期）片岡弘昌、高野助二
- （22期）岡本守、湯沢洋二
- （23期）横尾益夫、山崎竹照、山田明信
- （24期）山田滋、高野昇司、徳永勇治
- （25期）松本定男、佐藤元彦、高橋邦夫
- （26期）野口伸二、林五郎
- （27期）浪越孝、川原善次郎、内城勇造
- （28期）結城国夫、中島祥景
- （29期）鈴木甲子男、片野和夫、石神登志男
- （30期）渡辺昇、木村健二郎、石川明子
- （31期）山下茂幸、北川廣治、西井一志、日比野史郎
- （32期）田中盛夫、小玉誠、糟谷四朗
- （33期）田代龍介、片桐彰一、内城礼子、須加良司

運営委員 （順不同、敬省略）

全身の諸器官の中でも、動きの多い部分には障害が多く現われます。加齢に伴って消耗性の変化も加わり、各関節に種々の病変が現われてくるのはむしろ当然といえます。その意味で臨牀的にも数多く見られる関節疾患について、リハビリテーションの概要をお話します。

なおここでのリハビリテーションの意味は、種々の理学的治療によってその器官の機能を最大限に回復させ、それぞれの社会生活に復帰させるための一段階として、鎮痛や筋肉強化、あるいは関節可動域の拡大などを目標として行う医学的リハビリテーションということです。

関節は、初め胎生期に骨の起源となる間葉組織に裂隙ができ、しだいにこの部が深くなり、ついにその部が分離して軟骨に覆われ関節面を生じます。この軟骨は主として滑液によって栄養されますが、成人の軟骨はほとんど増殖することがありません。したがって軟骨が負傷するとその部分は結合組織によって置きかえられ、そのため関節運動の滑らかさが失われたり摩擦音が聞かれるようになります。発育期に作られた関節軟骨は、そのまま



同窓会総会 講演要旨

終生用いられることになるわけですから、関節に強い衝撃を与えたり、過大な負荷をかけることは避けなければなりません。

関節の知覚は、関節包や靱帯に位置覚があり、

また痛覚は関節包・靱帯および血管の外膜に存在しています。そしてこれらの知覚を受け持つ末梢神経は、その関節の運動支持筋に分布する末梢神経と同一の神

滑膜は多くの血管やリンパ管に富み関節の栄養や疾病からの防護作用を営んでいるわけです。

関節疾患のリハビリテーションの技法としては、マッサージ(指圧法を含む)、自他動的な運動療法・サポーターなどによる保存療法・電磁波や温水あるいは電法などによる温熱療法などが多く用いられますが、ここでは紙数の制限のため、変形性の膝関節症についてのみお話しします。

変形性関節症は、特別な原因を見出せない特発性の形で起こることが多いのですが、股関節・膝関節・腰椎などのように荷重の多くかかる部位、また頸椎など

関節疾患の

リハビリテーション

日本指圧専門学校講師 山縣 久美先生

経幹に含まれています。したがって関節の痛みは、その関節の支持筋のトーンヌス(持続的緊張)を高めて筋の血流を妨げ、栄養を低下させ疲労を招きます。逆に支持筋のトーンヌスを下げることによって、脊椎分節内を経て反射的にその関節の痛みを緩和するような抑制的刺激を送りこむことができます。

関節包は関節腔と外の組織を隔てる線維性の強い結合組織で作られ、それを補強する靱帯と相まって骨と骨を強力に連結しています。この関節包の内面が滑膜で、

のように日常の運動頻度の高い部に好発し、その他職業的に刺激量の多い部(野球選手の肩や肘)にも多発します。なお最近の心身医学の発達によって、精神的ストレスがこのような関節疾患の要因となることが判ってきました(局所の血管収縮などによる栄養低下のためと考えられる)。原発性以外に外傷や炎症に続発するものもあります。

膝関節法の症状は、立ち坐り・歩行の開始時・階段昇降などのさいの痛みが主

たるもので、その他水腫や可動域の制限、歩行障害などが現われて来ます。

本症に対する処置として最初に行うものは温熱療法です。大腿前面の下部から関節部にかけてマイクロウェーブが赤外線照射を行います。ホットパックで処置するのもよいのですが、深達性や後反応の強さを考えると電磁波の方が有利です。温熱処置によって血管が拡張し、筋のトーンヌスが下がってから運動療法を行います。

このさいの運動療法は、主として大腿四頭筋の強化を目的に行いますので、初め他動的に膝蓋骨を下におしてからこれをひき上げるような動作を数十回くり返します(等尺性訓練)。つぎに仰臥位で膝下に枕を置き、屈曲位の膝関節を伸展位にする運動を数十回反復します(等張性訓練)。とくに高齢で無い場合は、足首に砂のうなどを付けて抵抗運動を行う場合もありますが、抵抗運動によって強い疲労感を覚えたり(体力低下)、痛みを覚える場合に抵抗運動は中止します。

運動療法の後は、関節部と大腿部のマッサージを充分に行います。関節周囲や大腿神経に沿った指圧法は疲労の回復や鎮痛の効果があります。

水腫があったり、痛みが持続するときには関節サポーターを装着します。保温と半固定の目的で昼間だけサポーターを装着するわけです。なお肥満のある場合はその解消を、また洋式トイレや椅子・ベッドなどの生活に切りかえて膝関節に加わる負荷を軽減する生活方式に改善したりカルシウムや蛋白質を充分にとるなどの食生活や、安定した心身の生活を送るなどの指導を行う必要があります。(完)

〔写真〕講演する山縣先生

改正新法の要点

同窓会会長 石垣 惟一



点 視

改正された新法の重要なことについては、会報8号「視点」に指圧協会 佐藤岩治郎専務理事が発表されており、重複する点があるかと思いますが、ごらん頂きたい。

一、改正の趣旨 目的

- ① 教育内容の充実と資格者の資質の向上
- ② 質の向上（地位の向上）

二、免許

- ① 知事免許→厚生大臣免許

- ② 登録↓名簿に登録することにより行う。

- ② 免許の取消し、業務の停止↓厚生大臣。

- ④ 指定登録機関↓登録事務を行う。

三、試験

- ① 試験を行う者 知事→厚生大臣

- ② 受験資格 高等学校卒業 三年以上

- ③ 指定試験機関↓試験事務を行う。

四、特例

- ① 旧法による免許→旧法により免許を受けた者は改正後の法律の規定により免許を受けた者とみなす。（従って現免許は有効）

- ② 罰則その他必要な規定の整備

例 罰則 30万円 20万円 10万円以下
七条二：秘密を守る義務。

施術者は、正当な理由なく、その業務上知り得た人の秘密を漏らしてはならない。施術者でなくなった後においても同様とする。

- ③ 登録 旧法による名簿の登録（知事）は新法3の2の登録とみなし、厚生大臣に引継ぐ（自動的に引継がれる）

五、講習会↓努力義務

現に「あま指師」である者は、厚生大臣の指定する講習会を受けるよう努めるものとする。

講習会は各都道府県に設置される「講習会実施協議会（別表）が財団の承認を得て実施するもので別表の団体に申込むか又は財団に問合せる。

〒山東京都台東区雷門1-11-12
東洋療法研修試験財団

電 03-3847-9887

講習会実施協議会一覽

都道府県 所在地・電話番号

開講期日

北海道 札幌市中央区・道鍼灸師会内 2年11月（8会場）

青森 青森市・県立青森専門学校内 3年4月

岩手 気仙郡三陸町・県鍼灸師会内 3年4月

宮城 仙台市・県あ・は・き師会内 3年4月（2会場）

秋田 秋田市・県あ・は・き師会内 3年4月

山形 山形市・県立山形盲学校内 2年11月29日

福島 福島市・県あ・は・き師会内 3年4月

茨城 水戸市・県盲協内 3年5月（2会場）

栃木 足利市・県あ・は・き師会内 3年4月

群馬 前橋市・県あ・は・き師会内 3年4月

埼玉 大宮市・県鍼灸師会内 3年5月

千葉

本更津市・君津中央病院理学療法科内 3年6月

東京 新宿区・（獨）日本盲人会連合内 2年11月（3会場）

神奈川 横浜市・湘南医療福祉専門学校内 3年7月

新潟 南蒲原郡・県鍼灸師会事務所 3年5月

富山 富山市・県あ・は・き師会内 3年1月

石川 江沼郡山中町・県あ・は・き師会内 3年2月

福井 福井市・県鍼灸師会内 3年4月

山梨 甲府市・県鍼灸師会内 3年3月

長野 松本市・県鍼灸師会内 3年6月（4会場）

岐阜 岐阜市・県あ・は・き師会内 3年6月（2会場）

愛知 名古屋市中区・県鍼灸師会内 3年10月

静岡 島田市・県鍼灸師会内 2年12月

三重

津市・県視覚障害者協会内 3年6月

滋賀 大津市・県あ・は・き師会内 3年4月

京都 京都市南区・府あ・は・き師会内 3年6月

大阪 大阪市・大阪府盲人福祉協会内 3年6月

兵庫 神戸市垂水区・県あ・は・き師会内 3年5月

奈良 奈良市・大宮・県鍼・灸師会館内 3年5月

和歌山 和歌山市・県あ・は・き師連合会内 3年1月

鳥取 岩美郡国府町・県立鳥取盲学校内 3年2月

島根 大田市・県あ・は・き師会内 3年3月

岡山 岡山市・県鍼灸師会内 3年6月

広島 広島市・県鍼灸師会内 2年12月

山口 下関市・県盲協内 2年11月25日

徳島

徳島市・県あ・は・き師連合会内 3年4月

香川 高松市・四国鍼灸専門学校内 3年4月

愛媛 松山市・県盲人福祉センター内 3年4月

高知 高知市・県視力障害者協会内 3年8月

福岡 福岡市・福岡市保健鍼灸会館内 3年5月（3会場）

佐賀 武雄市・県鍼灸師会内 3年5月

長崎 西彼杵郡時津町・県立長崎盲学校内 2年11月

熊本 熊本市・県あ・は・き師会内 2年11月（2会場）

大分 大分市・県あ・は・き師会内 4年6月

宮崎 宮崎市・県あ・は・き師会内 2年11月（2会場）

鹿児島 鹿児島市・県あ・は・き師会内 4年7月

沖縄 沖縄市・鍼灸師会内 3年11月

パーキンソン病の症例

七期生 水岡道三

マニピュレーション
エンタプライズ社刊
(手技療法国際情報誌季刊)
VOL.5 No.4より抜粋

一、はじめに

指圧治療は手（または手掌）で体表を圧して離すだけの単純な操作である。これで身体の健康を保持し（健康指圧法）、病気を癒す（医療指圧法）のである。

断書にもあるとおり、医師も指圧治療の効果を認めて本人に継続治療をすすめた。不定期ではあるが現在もなお継続治療中である。以下その指圧治療経過を報告する。

二、症例概要

・姓名…○辺○一・年齢…47歳
（初診時）・性別…男性・職業…会社員（技術系）・初診年月日…平成元年6月15日・主訴及び病歴

約3年前（昭和61年）東大病院神経内科でパーキンソン病と診断された。以後約3年間薬物治療を受けてきたが経過不良。左上肢、左下肢のしびれ感が強く、処方通り薬を飲んでいれば症状は消えるものの、薬が切れると、居ても立ってもいられない状態となる。

（1）顔色悪く土気色を呈す（2）目がうつろで生気がみられない（3）歩行がぎわめて不自然で、左側の手、足の動きがにぶい（反対運動あり）（4）とくに左手の動作をさせると震えがきて、いらが募るとの訴えあり。

医師も認めた 指圧治療の 効果

から、それだけむつかしい手技でもあると私は思っている。指圧は深長、且つ熟練を要する仕事である。そのことをふまえて、私の指圧治療の実際からの症例を挙げてみます。

へ症例一パーキンソン病

一、緒言

本症は現行医療でも難病の一つに数えられているが、この患者は指圧が著しい効果をもたらした一例である。東大病院の診



水岡 道三氏

▼指圧治療の継続をすすめる医師の診断書。

診 断 書

○○○○ 殿

昭和61年11月22日生

1. 病 名 パーキンソン病

1. 治 療 昭和61年4月17日から

1. 付 記 上記疾患のため薬物療法をもち、いまは左下肢の固縮が著しく、歩行時に足がつかない、左下肢の痛みが出ています。これに対し平成元年6月15日、指圧治療法を用いており、大変有効な結果を認めています。

上記のとおり診断する

東京都文京区本郷7丁目3番1号

東京大学医学部附属病院 神経内科

医 師 ○○○○ 印

なお患者は十数年前に肝炎（A型）を患っており、薬物に対しては普通以上に不安感を持つていた一方、どうしても薬から離れたくないと訴えていたが、8月半ば以降、1回に飲む薬の量を少しずつ減らし、3ヵ月位かけて薬を全廃することができた。これは本人の努力による。諸氏の追究を期待したい。

三、施術経過
初診——といっても始めの日は、突然予約もなく来所したので治療時間がとれなかったのであるが、ひどく疲れ果てている様子なので、合間をみて頭部指圧を軽くして30分ほど仮眠させたところ「久しぶりに気持ちよく眠れました」と礼を言われ、次週から毎日治療に通いたいとの申し出だったが、週2回の施術を約した。
第1回・6月15日より本格的な治療を開始。頭部の圧痛（軟化）と腹部の硬直が顕著。左下肢、左上肢の反抗運動もみられた。
第3回目位から頭部の軟化、圧痛が鎮まり、望診でも顔色がだいぶ良くなった。
7月いっぱいまで週2回の治療を継続してきたが、8月に入るとて当方半月間の夏休みのため、本人に自己指圧法と運動の指示。8月15日治療再開。約2週間は常日頃より、病氣治療も含めて、生活（睡眠、食事、飲酒）、仕事、運動等を自主管理するよう、話しているが、この患者は科学者のせいか綿密に自己管理をしたようで、これがパーキンソン病という難病をなだめる（未だ完治ではない）のに大きな力となったと思うのである。
11月の検診で、別紙のような診断を受けた。これは医療費補助申請のためであったが、指圧治療が大学病院の医師により公認されたものと思う。その際担当医師から「君の場合は特別なケースだ」といわれたというが、指圧治療で快癒した例は他にもあり、医師の理解が広まることを期待したい。

四、施術方法

私はこの患者に頭部指圧を重点とし、腹部の指圧を補助として施術をした。もちろん指圧は全身療法が建て前だから他の部位をおろそかにするわけではない。しかしパーキンソン病は脳の異常による筋の運動障害といわれるので、指圧方法は脳の機能回復を図ることを第一とした。この圧方は中枢神経へのかなり直接的な圧反射期待である。私の頭部指圧は概ね次の順序で頭部全体を順次指圧する。

頭頂部→前頭部→左右側頭部→後頭部→後頸部→頸部リンパ腺母指圧と掌圧を適宜用いて脳内の血液の循環を図る操作である。（指圧点略）腹部指圧の圧方向は主に「腹裏の固」を和らげる操作である。全身の血行、呼吸作用の促進、酵素、ホルモンの分泌作用に大いに貢献する指圧である。諸氏の追究を期待したい。

手足根本療法について

増田 清一



一期生 増田 清一氏

一、意義

末梢神経の興奮伝導は内蔵から遠ければ遠いほど、種々な作用が行われて効果が多いことになる。最も芳しくして最も効果の多い手や足の刺激は末梢神経の興奮を促し直接には臓器への物質を伝達し、作動と制御を適当に整え、間接には動脈からくる栄養を淋巴、静脈によって代謝し回収し、血液の循環をよくするもの

であるが、凡ゆる病気の原因としてこの循環の悪化を指摘される。例えば足は心臓から一番遠いところにあつて、この毛細管の血流が悪くなると、全身の血行に影響し体に多様な障害を惹き起す。このように手や足の一定した場所には、人体の種々な器官の状態が投影されているため、体のどこかに異常があれば関連部位に反応が現われ、そこが病気の診断や治療のツボになること

が基本の考え方である。具体的にには体の異常が手や足の指に圧痛、硬結、緊張などの反応として現われる。そこには末梢神経と夫々の経路が走行しているので、適正な刺激は内臓その他に適正に影響してこの弛緩と硬結を補瀉し得るものである。故に全身指圧の上に重要な方法としてこれを取り入れるならば、その相乗する効果は大いに期待出来るものと確信します。

二、治療法

◇手指 母指から順に節々をほどこき、指先を圧し節々を屈伸する。手首を旋回する。掌は中央及び周囲を整圧する。要領はゆつくりと、揉み込むようにやること。

◇足指 要領は全く手指と同じ。但し手指と違って足指の場合は変形しているとか触っても痛いということもあるので、最初より無理しないで序々に手心を加えていくことが肝要。

後記

「手足根本療法」は、私がかつて日本指圧学院時代(40年程前)に、この創始者である柴田和通先生より2、3回ほど直接ご指導を受けたもので、この時非常に興味を持ったもの。先生の著書によってその後独自に勉強もしていたが、この書を或るとき友人に貸与したまま返却もなく(紛失したという)不自由していたところ、偶々片岡弘昌先生及び故大江和子先生が所持されていることを知り拝借することも出来、大変に裨益しただけに両先生には今でも深く感謝申し上げています。

以上



(柴田和通 著
「手足根本療法」より抜粋)



※土踏まず、小趾の下から踵は、足の根元で、大やが、骨の痛みや脊髄痛、喘息、黄痘、不妊症、根元痛、足指痛、足の冷え、とりわけ冷感、手足の冷え、運動過多で膝を痛める。



浪越満都子先生

浪越満都子先生は、日本指圧専門学校校長。浪越徹先生夫人の浪越満都子先生がこのほど出版社の依頼で「指圧で美しいからだをつくる」という本の執筆を終わり、六月上旬頃販売の予定で出版作業が進められている。

ソフトでわかり易い

指圧普及に初出版

浪越満都子先生

先生は日本指圧専門学校教員として多くの指圧師を育成して来られたが、社会的にも早くから各地で「指圧教室」の講習指導を行って来た。その貴重な経験を生かして近代的指圧治療と浪越指圧の本流を判りやすく説明、普及して、生活の中で気軽に指圧を役立ててもらおうというのが先生執筆のねらいである。

〔カバー写真とイラストの一部〕



頭の指圧

受けるひとは、

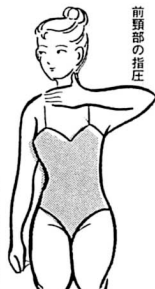
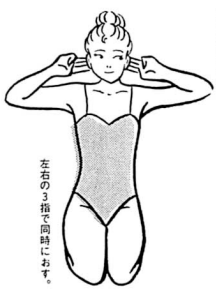
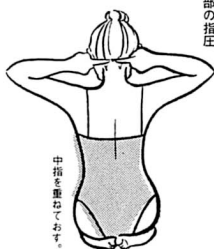
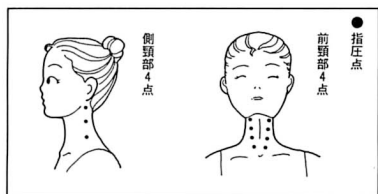
(指示のないときは、ひとおし点を1回おし、3秒でおしします。)
6点をしんと長めに5秒おして、静なします。
頭痛、頭、不眠、ローゼン



指圧を受ける時の姿勢

MONDAY

●月曜日 首の指圧



◆ “自分でする指圧”(自己指圧)
—— “美しいからだづくりのための一週間メニュー”として
“月曜日の指圧”首、火曜日の指圧——顔、日曜日の指圧——足と入浴の指圧——など、美しいからだづくりの計画的・継続的な自己指圧を女性になじみ深い「献立て表」のアイデアをとり入れて進めているのも面白い。
(参陽社刊・B6判204頁・価九八〇円・〒113東京都文京区本駒込二一八—八藤田ビル、電〇三—三九四七—〇一三〇)

◆ “こんな時にも指圧をしましょう”
—— 頭痛、肩こり、目の疲れ、便秘、腰痛、貧血、冷え症……など日常起りやすいからだの変調対策。
◆ “こんな憂うつも指圧で解消させましょう”
—— 生理不順、生理痛、つわり、静脈瘤、更年期障害……など女性特有の身体変調対策。

延髄部
後頭部と側頭部の間を左右の3指で同時にひとおし3秒4点3回おします。

前頭部
左右の乳様突起の下から肩のつけ根の手前まで、左右の3指をつかって同時に首の中心に向けて、ひとおし3秒4点3回おします。

shiatsu (shē-āt/-sū) *n* a form of manipulation by thumbs, fingers and palms, without the use of instruments, mechanical or otherwise, to apply pressure to the human skin to correct internal malfunctioning, promote and maintain health and treat specific diseases.

▶米国で出版されたポケット医学辞典と「シアツ」の英語説明文

ルバル先生を会長に立て現在約百人の会員となり今後ますます指圧の輪はスペインに広がるでしょう。ドイツのビルクナー先生はデュッセルドルフに指圧センター手技療法学会を設立しました。カナダのトロントでは斉藤健泉先生(21

先日、日本橋の丸善の洋書売場で「ニューアメリカンポケット医学辞典」という本がでていてSの項を開いて見たところ、「SHIATSU」とのついでに説明には「シアツとは手技で、母指、手指、手掌だけで器具類は使わず皮膚面から圧を加えて内臓の異常などを整え健康を増進し、特定の疾病を治癒する」とありました。いよいよ指圧も本格的に国際化したという感じがします。各国で指圧の学会や学校

昨年をふりかえり見ますと、11月に開催されたスペインのマドリッドでの第8回国際大会は2百名近くの参加者で大盛況でした。特に25期卒の小野田茂先生の活躍はめざましく、スペインの名門ガ

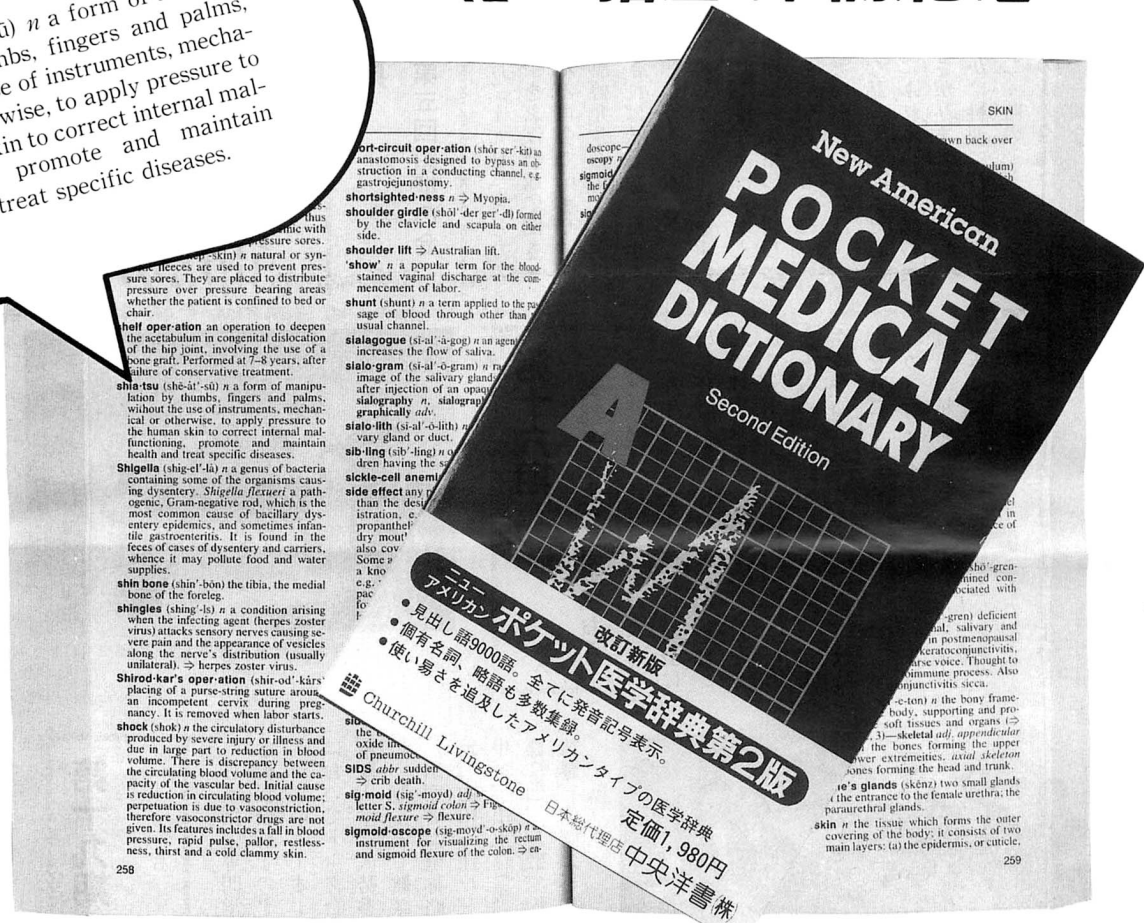
第5回国際大会がバンクーバーで開催されたとき、当時バンクーバーの日本総領事であられた片倉邦夫大使に、この大会に大変協力していただき、その後すっかり指圧の愛好者になられました。はからずも一昨年、イラクに日本大

使として赴任され、日本人の性質問題などで大変にご苦労なされたことはテレビなどの報道で皆様は周知のことでしょう。私どもが特に心配していた片倉大使がこの3月1日、無事に帰国されたことは何よりでした。帰国されて早速、私のところへ指圧をうけにこられました。が、やつれた様子はなく、とても元氣そうでした。指圧を始める数分の内に気持ちよさそうに眠られてしまいました。からだ中こちこちにこもって、特に首すじから肩背部にかけては大変なこりようで、本当に心身共にご苦労されたのが私の指にひしひしと感じとられました。本当にご苦労さまでした。今後、大使で赴任されるときは是非とも、指圧師を同行して自分のからだはもとより、大使館の館員や外国の高官に指圧をとおして平和外交に大いに役立てていただきたいと願っております。

おわりにグッドニュースで、現役時代に私が指圧をしていたファイトニング原田が先日、米国のボクシング殿堂入りをしました。千五百人からの盛大な祝賀パーティが開催され、理事長と私も出席して原田と共に喜び合いました。

日本指圧専門学校校長 浪越 徹

《《 広がる指圧の国際化 》》



アメリカで

ポケット医学辞典に

Shiatsu の用語

期)が指圧アカデミーを開講しました。斉藤先生はカナダのスポート選手達の指圧治療に効果をあげマスコミで報道されています。このように各先生方の活躍はこれからの指圧の国際化の発展に大いに期待されます。

私共が毎年、各国で開催している指圧国際大会は、指圧をとおして人類の健康と平和に貢献するすばらしい平和外交といえるのではないのでしょうか。心配された湾岸



同期会だより

第四期

第五回四期の会

平成二年四月二十九日「みどりの日」に四期の会を茗溪会館で開きました。石原さんの司会で始まり、開会の言葉を木戸啓介さんが「入学以来三十年も過ぎれば苦しかった事も美しい顔は昔のまま」と年輪を重ねた立派な開会の言葉で始まりました。浪越徳治郎理事長先生のお話しは霊界の事を話して居られるのに、いつの間にか現実引きもどされ「オチ」がつく巧な話術に感心させられ優しい温い心につれ本当に恩師の奥の深さに頭がさがります。

一同なごやかに料理に舌つづみを打ちながら楽しく時の過ぎるのを忘れ理事長先生の次の会場に移つたのを見送り、一同なつかしい伝通院へ行き学校の半身像の前で記念写

真を撮り指塚と浪越家のお墓に参り、伝通院で二次会となり、平成四年六月の再会を約し解散しました。遠く秋田、静岡から前日より東京に来て下さいました皆様、また藤田和子先生には特別に御参加頂き心より厚く御礼申し上げます。

四期の会世話人 根岸とき枝



浪越理事長を囲んで

第十六期

満都子先生の出版祝おう

一昨年の一路会十五周年祝賀会には担任の石垣、佐々両先生、来賓として理事長先生、校長先生をお迎えして五十余名の同志が一堂に会し旧交を温め、知識の交換を行ない、女性の参加も多く華やかで楽しい数時

間を過ごしました。カメラマンとしてお願いした現教員の浪越孝さんをご紹介したところ、立派に成人されていらっしゃるのですね。皆様がびっくり。その筈です。我々が在学中の彼は小学三年生でした。

嬉しいニュースを一つ。会長の浪

越満都子さんがこの程「指圧で美しいからだをつくる」という本を執筆なさいました。処女出版でもあり是非この機会にお祝いをということになりました。同期のみなさまには同窓会へどうぞ出席下さいませようお願いいたします。

(高橋和子)

第十九期

トーク

日本指圧専門学校創立五十周年記念祝賀会終了の平成二年二月十一日、ホテルニューオータニ（アゼリア）においてトーク会総会が挙行され、夏期大学に大勢参加することを確約し、遅くまで歓談した。

出席者（敬称略・手前左から）菊地、山田、江戸、舟津、斉藤、池永、中野、川上、（後列）安斉、森尻、佐藤（玄）、日野、松原、松田、桑古、後藤、山岡（不在） 佐藤（玄）記



トーク会総会出席者

第二十四期A組

錦絵会・西海の旅

二十四期A組ふれあい十周年記念西九州大会は、平成二年五月二七、二八、二九の二泊三日の旅で同志十八名と六名の令夫人の一行は定刻大村湾に面した長崎空港に到着した。現地幹事板谷健一さんと握手、デラックスバスは運転吉田、ガイド河村さんとの三日間の交りが始まった。

高い塀に仕切られた大村難民収容所の説明に遠くに来た感を深めた。五年の歳月と浄財で昭和三十年に完成された巨大な平和祈念像は全世界に平和を訴えている。公園内の「平和の鐘、日中友好の平和の乙女、平和の泉」も風格を高めている。

永井博士が被災した体で我が子と共に住み「この子残して」と筆を運んだ二畳分しかない「如己堂」はあまりにも小さく苦勞の當時を偲ばせる。国際文化会館の展示の数々、爆心の地、片足の鳥居等々原爆の凄さを物語るものばかりであった。

稲佐山中腹のホテル清風に到着、いつもなら定例の勉強会となるのだが、今回は関智四郎さんの「広島原爆体験談」を拝聴し、一同平和を祈念した。

夜の帳がおりると長崎の百万弗の夜景に目を輝かせ、食卓の珍味に腹の虫も小踊りして酒もビールも度を過ぎし中道さんの「鯛焼きくん」に一同腹を抱えたり和田さん夫妻のてんでんバラバラの演歌にあきれたり、夜景の写真撮影に夢中になつて

新調の三脚をオシヤカにして気の毒を絵に書いたような竹内さん。

第二日は異国情緒たどる歴史とロマンの街中から、国宝大浦天主堂から見学を始め古色蒼然たる堂内にステンドグラスの鮮かな光が差し込み信者の心を和げる、懺悔の室に入つた篠原さんはなかなか室を出なかつたのはその昔何かがあつたのかしら？港の見える丘から帰らぬピンカー・トンを待つ蝶々夫人の姿も哀である。

風車が廻り帆船が浮かびカロヨン

の鐘が青空に鳴りわたるオランダ村のバスポートも早々と板谷さんが取って呉れ十一ヶ所の記念館のスタンプを押すのも忙しい。

此処から平戸に向かう高速艇コバルト号は海上四十三米に架けられた西海橋の下をくぐる。大急流の一つだけに渦潮に巻込まれて船首が左右に大きくゆれる。

真紅の平戸大橋を潜り抜けると日本最西端の町平戸である。旗松亭は浪越理事長も泊つた宿とかで女将も懐かしがり、南蛮太鼓、鯛の活造りの実演から始まって盛り沢山の料理に目を見張り次から次へと出て来る料理にアルコールの消費量が少い。宴会半ばで指圧専門学校代表として川村（亀田）さんが南蛮広場のカラオケ大会に美都子夫人と共に出席して行く、板谷さんの「早変わり童謡集」が始まる時、関さんの早飛脚が「亀ちゃん十八組のカラオケ大会優勝」の吉報を知らせて来た、こうなる「ど素人」の歌など唄ってられない。山ほどの賞品と優勝カップを持って来た亀ちゃんも興奮、美都子夫人も満面の喜びで早速優勝曲「夢追い酒」が披露され参議員当選の

ような騒ぎとなった。
第三日目は平戸城から鳥賊の刺身
を求めて佐賀呼子の町へとバスはし
た走りに走る。

こうして二泊三日の西海の旅は、
板谷さん自身現地踏破の結果から選
んでくれた最高のコースだったし、
十年前結び合った八十名が未だもっ
て兄弟の如く、しかも今回は女房殿
まで親しく語り合う事が出来て錦絵
会も家族ぐるみのふれあいへと結び
の糸を太くしてゆく。何くれと陰の
苦勞人の渡辺定文さんに感謝しつつ
板谷夫人の手造りの田主丸耳納焼を
土産にし、再会を約して陸と空の人
となった。

(山田滋記)



長崎オランダ村。帆船の前で一同。

第二十四期C組

合同総会に多数出席を

第二十四期C組の皆さんお元気で
すか。卒業以来早や十年になろうと
しています。楽しかった旅行、ハッ
スルした運動会等々あの頃の青春を
再び呼び戻そうではありませんか。
今度の同窓会総会には、万障繰り

合せて、また連絡のとれない方達も
おります。みんなでさそい合わせて
是非共出席して下さい。

第二十四期C組で一コーナーを設
立確保いたします。そしてその
後、楽しい二次会を計画しておりま
す。またその時、つぎのクラス同窓
会について打合せをいたします。

思い出の二年間を語り合いながら、
現在を讀みあひ、はげましあひ、次の
ステップへと進みます。卒業時六十
五名、今回の出席目標五十名、再会
を心より待っています。

(高野昇司)

第三十一期

指成会便り

日本指圧専門学校を卒業してから
二百日が経過した時点で、在学中に
お世話になった先生方への感謝と、
同期生相互の情報交換を兼ねて、平
成元年10月29日の日曜日に、第一回
の指成会懇親会を、新宿住友ビル5
階の町内会クラブで開催しました。

卒業後初めてのクラス会とあって、
果して何名の会員が、出席出来るの
かという目安もつけかね、日時・曜
日や会場の選定には、幹事諸兄が大
層苦勞致しました。

ところが、「元気で仕事をしています
す」との近況まで書き添えられた浪
越徳治郎理事長先生の返信が、一番
最初に届き、会の当日には、出席通
知のなかった会員も駆けつけてくれ
たので、8名の先生を35名の会員で
囲み、在学当時とは一味違った教
示を頂くなど、大盛況でした。
宴たけなわとなり、理事長先生お

得意の芸が披露された頃には、用意
された料理も殆んどなくなっていま
いました。

実は、案内を発送した後に、東京
都委託施術者講習会の最終日と重複
することに気付いたのですが、午前
は講習会、夕刻からは結婚披露宴に
ご出席という、ハードスケジュール
の合間に、私共の指成会へ出席して
下さった理事長先生をはじめ、石垣
惟一、佐々昭三、出口和雄、浪越和
民、小林秋朝、上野欣二、鈴木林三
の緒先生方に改めて感謝の意を表し
ます。

会合の席上では、学校の創立50周
年記念に際し、指成会基金から捻出
して、5万円を寄贈することが承認
され、実行されました。
釣瓶落しの秋の太陽が、西に沈む
頃に解散となり、諸先生をはじめ会

第三十三期A組

同期会を燦々会と命名

去る三月二日、椿山荘に於て、す
でに春の息吹も感じられるすばらし
い天候の中、私共第三十三期生の卒業
式も、滞りなく終了いたしましたこの度、
伝統ある日本指圧専門学校同窓会の
末席に、名を連ねさせていただくこ
とは、私共一同にとって感激に堪え
ません。

卒業にあたり、第三十三期生の同窓
会の命名を——と皆で考えました。
例えば、第三十三期生であることから
のゴロ合わせ(あるいは、思っても
みなかった程、勉強させられ、惨々
な思いをした?こと)から『さんざ

員各位の健康と発展を願い、再会を
約しながら、小グループに別れ、三
三五、二次会などに散ってゆきま
した。

平成2年は、31A会(8月8日)、
31B会(6月17日)と、A・B組別の
会合を持ちました。

第2回指成会懇親会は、平成3年
秋、日曜日の午後開催を予定して
おります。土・日の両日は治療のた
めに、お忙しい方が、多いこととは
思いますが、何とかやり繰りをお願い
いして、成るべく多数の会員の方々と
お会いできることを願っております。
最後に、指成会の幹事を仰せつか
っておりますのは、山下、日比野、西
井、山越、坪井、海阪、六田、神山
の8氏です。

(山下記)

第三十三期B組

二年間を省みて

謝の意を表しますと共に、日本指圧
専門学校の益々の御発展と皆様方の
御健勝を心よりお祈り申し上げます。
(燦々会会長 田代龍介)

二年前の春。まったく見知らぬ者
同志が席を並べた時は、互に他人行
儀な面も多く、かしこまった様子だ
ったが、日ならずして長年の知己の
ような交流が始まった。

以来二年間、互に励まし、励まされ、
喜びも、苦しさも乗越え、よくぞ
今日の卒業式に辿り着くことが出
来た、と云うのが実感です。

この間御指導下された先生方に厚
く御礼申し上げます。級の生徒の知識、
経験、年令差が大きく、ほんとうに
教えにくい相手だったと思いますが、
先生方は含蓄を傾け、熱意溢れる御
指導に感謝致します。

同志の多くは、学業、仕事、そし
て家庭と二足、三足のわらじを履
き通し、その心身両面の苦勞はほん
とうに筆舌に盡せないものがあつた
と思います。この体験は必ず、今後
の人生に強い自信と、大きな希望を、
もたらすことと思います。

同志全員におかれては、二年間に
吸収した、すべてを活用し、各位を
取りまく諸条件を見通され、特色の
ある活躍をされることを信じ筆を止
めます。

(燦々会顧問 坂本 進)



指圧によって痛みを去らせる効果は指圧師の誰でもが経験することだと思います。医学的に説明され教えられるこの頃では不思議の事ではないでしょうが、20年も前の事です。悪性肉腫を大病院で手術をして、命の

指圧と和痛 再起を望めぬ 患者との対応から



学院・9期聴講生
川上 よし

末期の看護に疲れのひどい家人を手助けするために、私は見舞に行き、一夜看護を家人に代って、朝まで付きそいをしました。主治医も家人も死は間近いことを承知であった。はげしい痛み苦しむ患者に、一日二本以上出来ないという注射を、苦しみをみかねてもう一本。患者の肉親達も見るに耐えなくてもう一本と、日に四本にもなる有様でした。一度はお見舞せねばと行った私でしたが、私が帰る時、患者が今度何時来て下さるか、たずねられ、返事につまりつつも、出来るだけ早く来るねと云ってしまい、その言葉に対して又行きました。そして又々行くハメとなり、或る日、私が病室に入ると、看護婦さんが「川上さん来てくれた

よ、よかったわね今日は」と嬉しそうに患者さんにつげました。
私の行った日は痛み止め注射が一本少なくてすむのだそうです。私はそれは当然とは思いませんでした。慰めになるならよかったと思いい夜中つきそい、帰りは電車の中で居ねむりして帰っては、と何回か見舞いました。或る日帰る時間になると、「この次は？」と私にきくのに、患者さんをふりかえってみると額に当てたタオルが鼻の方までズレて居たので、もう一度冷やして当て代えてかえろ、と思ってタオルを取るとヤセ切った両の目頭のくぼみに、きれいな涙がパイ光っていました。そしたら顔でタオルを冷やし首の方まで汗をおさえてから、額にタオルを置き、汗と共に掃き取った涙も患者が私にかくそうとした涙らしく思いました。そのまま目をつぶり眠ったかの様にしていたが、病室を出た私は、その奥さんに「雑用は誰にでもたのみ一時もそばをはなれないでやってね」と云い置いて帰りました。
大東亜戦争に出征した勇士であった患者さんですのに、目頭の涙をみた時、無言で何かを話しかけている様に感じました。幼児の様に人恋しい病人なのに耐えているんだな、と知りました。次の日その奥さんから「亡くなりました。私にも先生にも看護婦さんにも、自分の様な幸者はない。長い間よい人にかこまれて療養が出来てほんとうに幸者だよ」と、それに指圧なんて云う手当てまでしてもらって、川上さんの手がさわわっている時、うとうと眠った。その時は自分の天国だった」とのこと、そして注射で痛みをしずめてもらった時は、

昭和十七年九月に繰上げ卒業させられて入隊した学徒兵中より、甲種幹部候補生として選抜された候補生は、各師団よりはるばる北支の保定幹部候補生隊に転出入隊しました。私は金沢の九師団より砲兵部隊に入隊しました。

軍馬「淡鸞」



23期生
横尾 益夫

「苦しさに耐えているんだよ、おしっこ出なくて出ない時の様で云うのかな、キリキリ痛くはないが苦しんだよ」と話して苦しみがないくなった様にしてお札を云ってから静かになくなりました」と、長い長い電話で患者さんの奥さんが様子を知らせてくれました。
悲しい知らせではありませんでした。でも川上さんの手が「さわわっている時うとうと眠ってしまうその時が天国だった」との言葉には、せめてものなぐさめであったと指圧に感謝しました。どうしたらその重病人に指圧が出来るか、ときかれてもこまりません。けれど基本治療で技術をみがき、苦しい人に良かれと心して応対するうちに、相手に対する適圧が生れるものと思います。命の泉湧かせるためには、自分の体調こそきたえぬくために修業こそ大切だと思います。一生がいの修業であると思います。

輝く叙勲・都民功労賞

平成二年度では教育、保健・衛生、母子保健に永年功労の理由で次の三氏が叙勲並びに都民功労賞の栄を得られた。
(敬称略)



石垣 惟一氏

勲五等双光双日章

石垣 惟一

(教育功労、日本指圧専門学校副校長、同窓会会長)

都民功労賞

相沢 君枝



相沢 君江氏

(保健・衛生、日本指圧協会監事)

加藤 たけ

(母子保健、荒川区助産婦会会長)

石垣 惟一先生(6期)都立富士高校教諭、文京盲学校教頭を経て葛飾盲学校校長、全国特殊学校校長



加藤 たけ氏

会会長、全国盲学校校長会会長、その間、厚生省審議会委員を歴任。なお昨年五月十一日には文部省関係受章者七百五十余名を代表して陛下に御礼を言上された。

相沢君江先生(一期)昭和32年日本指圧学校を卒業後直ちに故山田久就イラン国大使の随員としてテヘラン日本大使館に勤務、大使館員の健康管理や各国大使・要人にも指圧を通して国際親善につとめられ、更に昭和45年には一年間台湾台北市で指圧指導に当るなど指圧の国際化と平和外交にも貢献、47年より日本指圧協合理事、女性会員の地位向上にも盡力。協会では初の女性都民功労受賞者となった。

加藤たけ先生(12期)日本助産婦会東京都支部の推せんで助産婦として母子保健に永年尽力の功で受賞の栄を得られた。

砲兵隊の山砲中隊に配属され早々に私の手付馬が決められ、首題の淡鷺と云う俳号のような名前の鹿毛となりました。淡鷺は噛む、蹴るという癖馬中の癖馬として部隊では有名な癖馬でした。教官からは、取扱いに関し充分なる指導を受けましたが、このような癖馬の取扱者に指名された理由を尋ねましたところ、貴官は学生時代の剣道の高段者にて錬士号を受け、最適任者として選ばれたとのことでした。

厩舎に往き淡鷺の前に立っただけで、馬体各部の皮膚が極度の興奮状態でふるえて、耳はうしろに引き攻撃態勢にて一ヶ月余り一日に四回厩舎より引き出し、水をあたえ、馬糧をやるだけにして馬との信頼関係を良くすることに専念して、除々に日光浴をさせながら、少しずつ馬体にふれるようにし、次にブラシで馬体の手入れも出来るようにしましたが、当時は教育訓練と周囲の警戒もするため、出勤もしていましたが、敵八路軍の弾丸による戦死よりも、淡鷺に蹴られて戦死となる公算が大きいという、恐怖感を持ちながら接しておりました。

六ヶ月過ぎ頃、部隊長閣下の厩舎の巡視があり、淡鷺の前に来られた時、この有名な癖馬が良く手入れされていると格別なお賞めの言葉をいただきました感激をしました。

訓練も進み馬運動や長距離行軍や演習等も行われる段階に入り、此の馬に乗馬用の轡をつけかえると、馬が別の馬のように温順となり全く驚きませんでした。乗馬用鞍をつけ腹帯をしめ、遠乗りなどしますと、他の馬と比較して馬体の反動が小さく、且つゆつくりで、反動ぬきが容易で疲れ

が少く全く助かりました。

この癖馬にこの様な長所のあることを教官からも聞いていなかったのを感じしました。戦後復員して会社勤務するようになり、支店長や部長等の職につき、多くの部下社員をもつようになり、本社など上司から癖多い若い社員の受入れを度々依頼されましたが、軍隊経験による体験で癖馬ほど長所が多くかくされているものだ、との確信により転入社員を引受け、かくされた長所を引き出し、之を伸すよう指導することで、長所が大きくなり欠点が余り目立たなくなり、大いに期待される社員に成長してくれ、おかげで数多くの結婚仲人もさせられることとなりました。今日ではそれぞれ会社幹部として活躍しており心から喜んでおります。若い人の教育は個性を伸し特色のある人を作り出すよう努力すべきと考えています。

さて首題の淡鷺の其後は、私が一週間ばかり砲廠勤務となり厩舎に行けなかった或る夜、淡鷺仙痛の報で私も急ぎ獣医舎に駆けつけた時には、腹を前足で蹴り馬体は油汗を流して苦しんでいました。獣医初めみんなの看護にかかわらず北支の夜明に仔馬より取扱者に恵まれず癖馬になったのだと思うと、人馬ともに幼児期の指導教育の重要さを痛感させられました。



第20期生
田代 和平

私の指圧道と メリット

一、私の指圧道は感謝の気持ちです。指圧治療は知識も大切であるが根本は心である。即ち「指圧の心は母心」は徳治郎先生の名言であり、私共はこの言葉にひかれて斯道に入り今日に至っている。私どもが停年をすぎても年令に関係なく、しかも元気に生活して行けるのは勿論個人の真心のこもった努力精進の賜であります。

母心の浪越流指圧を創設、広めて来られた徳治郎先生の御指導が私共大きな影響を与えていることは事実であります。

徳治郎先生は知識も勿論大切であるが、和やかな気持ちで真心を持った一指入魂の母心を持って治療に当ることを声を大にして説いておられる。智に走る余り心を忘れる傾向があり、かつ薬をして治療することに執心し指を忘れ本道を外れた指圧になってはならないと考えます。即ち治療技術の練磨に励むことは勿論ですが、指圧はそれのみではなく、感謝の気持ちを持った和やかな母心で一指入魂の指圧道でありたい。

二、組織に所属するメリットとは何か。

人々(動物)は一人一人とばらばらになっていては社会的存在が小さく

社会から認められず相手にされない。そこでそれぞれ集団社会を形成し助け合い協力して、社会的地位の向上を図ることになる訳で、私共指圧師も他の集団と同じく一匹狼であってはならないのです。即ちある団体としてまとまり行動すること自体が、社会的メリットがあるのではないのでしょうか。

勿論会費に相当するメリットとして、種々の利益の反対給付をすることも重要なことですが、私ども指圧師の中には、このことのみがメリットであるとする小さい考え方が多いように思われてなりません。

メリットとして反対給付を要求しすぎず、集団に所属し、友情を持つて団結して団体活動していくこと、そのことが組織に所属するメリットであると思います。

日本指圧協会や都指圧師会は学校等のような教育機関ではなく経済的にもその能力は小さく、殆んど会員のボランティアで運営されていることは御承知のとおりです。しかしながら小さな経済力を最大限に活用して、会友諸兄姉と相携えて指圧の学術技術の向上につとめ、公衆の保健衛生に貢献し、社会福祉の増進に寄与することを目的として成立している訳です。

私共はその団体に属すること自体が社会的に最大のメリットであることを御承知の上、勢急に余り多くの目先の反対給付のみを求める考え方は団結した団体活動は出来ないのではないのでしょうか？

(日本指圧協会総務部長
田代和平)



第24期生
岡林 猛

盆栽

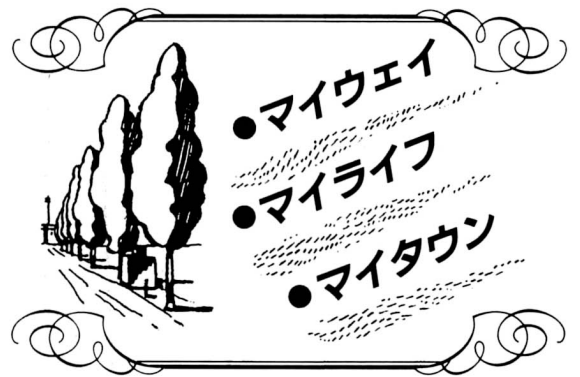
盆栽は古来より、多くの人々に觀賞され、且つ、親しまれて来た伝統の芸術であるが、又隠居仕事の如く連想せられ勝でもある。然し之が栽培の実際となると、それは一刻たりとも目の離せぬ、幼児に注ぐ愛情の如く、植物に対する日々の変らぬ努力を続ける事こそ、必須の条件と言えましょう。

丹精を惜しむが故に、其の成果の上らないのみか、多年培って来た銘品をも枯死さす例も珍らしく無いのであります。

物語り「鉢の木」に見る如く、其の史実は古く、多くの人々に愛せられて来たにもかかわらず「茶道」や「生花」の如くに、流派の生じ得なかつたのも、根を持つ真の生きた植物であるが故、年々の変化に対応する事が如何に困難であつたかを如実に物語る一つの証では無いでしょうか。

私の趣味は梅の盆栽であります。

私の郷里、土佐市の北側を走る大平山は、標高二百米そこそこ、其の名の如く、眼下に大平洋を望み、薄暮となれば遠く三十軒の地点に室戸岬の燈台が映え、冬来れども尚、霜知らずの温暖且つ地味豊かなみかん



地帯でありました。

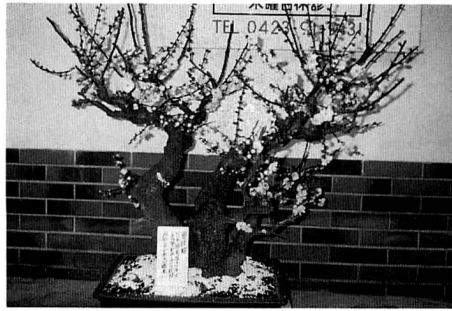
起伏する山腹の所々に白骨の如く、地表面に突出するのが此の山の主体を形成する石灰岩であり、其の岩山には種々の雑木がひしめき合い、小さな林を造っている。其の中に自生する梅の古木も又、其の中の一つでした。恐らく小鳥達が運び、喰べたであろう梅の実が、一握の土を得て発芽、岩山に根を張り、台風にも負けず、旱天にも耐え抜いて幾星霜を過して来た事でしょう。岩石の上の成育であり、其の成長は極端に遅く、平坦地のそれと比較すると、十分の一にも足りない状態で、百五十年を越す程の老木ともなれば、其の樹形は恰も岩上に腰を下ろした仙人の感でした。

幼年期より祖父に手を引かれて、いつも登ったみかんである。其の途中で、祖父が口癖の如く「此の岩上の梅の老木は、俺の若い頃と殆んど変りが無いほど肥大度が遅い、それ丈に、木質は堅く、小さくても頑丈

ぢやけん喩」と、推して知るべしでありましょう。

昭和三十年頃、此の石灰山の開発計画が組上りのほり、買収が始まった。これを機会として、私は常に関心のあった此の石灰山の梅の古木を盆栽として残すべく、冬間の農閑期を見て之の採取に当たったのでした。当時三十才代も半ば、それは隠居仕事に程遠い壮年の頃でありました。

石灰岩は軟弱ではあるが、矢張り石であるのに変りはない。石鑿で割りつつの作業等もあり、手伝人を交



治療所前に飾られた梅の盆栽▲

えても、一本堀取るのに半日を費す事もある。随分と物好きの様な話であるが、其の甲斐があり、現存する推定百五十年生の私の秘蔵の自慢品でも、其の直径十五程で、鉢を含めての重量も四十キロ程度、盆栽としては適当と思っている。堀取りを終わった古木は、一年暇植して樹勢の回復を待ち、之を台木として接木を施したのでした。みかん農家に育ち、成木みかんの品種更新のための高接木、みかん苗木仕立等、少年時代から、祖父より手を取る様にして厳し

く教わって来た接木でしたが、さらに復員後は、みかん苗木の生産、販売も生業の一つとしていたので、接木に就てはお手のものであり、之も盆栽作りへの近道であったのだらう。昭和四十一年上京する事になり、故郷の想出にと東京に運び、農家より借地をして会社勤務の傍ら、之の栽培を唯一の趣味として来ましたが、大小合せて約千五百本、二百坪の畑の入手は健康且つ楽しいものでしたが、指圧専門学校時は、学校と会社との両立の中にあつては、流石に多忙な事も余儀無い事でありました。

当時の同級生・故木下慎一君が、盆栽に興味があり、且つ同年の誼もあつて、休日には手入中の畑を尋ねて呉れたが「君が学校で良く盆栽の話をするが、これほどの多本数を栽培しているとは思っていなかった。僕は四、五鉢でも手を焼いている」と驚いたり、あきれたりであつた。そのころ持帰つて呉れた盆栽を主無きあと奥様がお手入れをして居られる由をお便りでお伺いした事があるが、それも一昔の想出の一つである。

一昨年、地主の都合に依り、土地を返却する事となり、殆どを手離すの止む無きとなり、現在私の手中にあるのは岩山で堀取った古木等百鉢程である。

困難な都市住宅事情の中にあつて、盆栽と同様であり、十坪程の置場所にも事欠く次第で苦労している。

然し私に取つて、梅の盆栽は苦勞して堀取った岩山の想出もさること乍ら、幼年期より手をたづさえてみかん山に登り、愛しんで呉れた祖父や、家族、共に遊んだ幼友達、夕暮れ迫り、室戸岬の灯点り頃となると思わず淋しさを憶え「日が暮れるか

ら早く帰ろう」と泣いたあの日、戦後のみかん全盛期、秋の収穫時には、手伝の人達の先頭に立って、往復二料もある山道を一日七、八回、みかんを背負つて上下し、収穫の完了の夜、手伝の方々への振舞酒を共にして、一緒に唄つた「南国土佐を後にして」其の想出の一つ一つを彷彿として宿して呉れる、懐しの梅鉢であります。

会員名簿発行

同窓会名簿作成委員会(委員長・田中盛夫氏)ではかねてから各期運営委員の方々に調査をお願いして会員名簿の訂正補足を行って来ましたが、このほど全国同窓生に会員調査カードを発送(会報に同封)、これをもとに希望会員に実費有料で会員名簿を作成、発送することになりました。昭和57年以来10年振りの大改訂版です。

規格B5版(25cm×18cm)タテ型
内容Ⅱ巻頭写真、会則、現任教職員・会役員名簿、会員名簿(準会員Ⅱ在校生を含む、五十音順索引、巻末広告、一六五頁記事事項Ⅱ氏名旧姓、現住所、電話、職業(①指圧関係Ⅱ開・出・勤②指圧以外の職業Ⅱ他)

今回の名簿は全会員の悉皆調査による発行であるため、現時点における同窓会の実態が浮き彫りにされ、五十音順索引で個々会員の消息も知ることが出来ます。

名簿発行には調査・編集・印刷・発送費など費用の膨大化は避けられません。そこで今回は希望の方には送料込みの実費有料配布と広告掲載の御協力をお願いせねばならないことになりました。部数が少なければコスト高になりました。事情御賢察のうえ絶大な御理解・御支援をお願い致します。名簿・広告の①お申込みは同封の会員調査カード該当欄御記入②御入金は同封振替用紙を御利用下さい。

(副会長 上野欣二)

同窓会事務局
〒112 文京区小石川2-15-6

日本指圧専門学校内
電〇三三八一三三七三五四

今年も又、嬉しい梅の季節となりました。私の自慢の梅も目一杯に花を付けて、治療所前に飾られ、道往く人々の讃辞を浴び乍ら、春に魁けて鳴く鶯よりも一足早く、我が春を謳歌しているのであります。そして来る年も又、来る年も……。それは、指圧の道のそれの如く、続ける事の喜びを教えて呉れる事でしよう。

会員名簿頒価

特価 ¥2,000
<送料込み>

広告サイズと料金(掲載の方には名簿1冊贈呈)

1頁枠 (タテ220 _ミ ×150 _ミ)	¥50,000
1/2頁 (タテ110 _ミ ×150 _ミ)	¥30,000
1/4頁 (タテ110 _ミ ×75 _ミ)	¥18,000
1/8頁 (タテ55 _ミ ×75 _ミ)	¥10,000

お申込み次第原稿用紙送ります。完本後請求書同封。

会報原稿募集

◇宛先・日本指圧専門学校同窓会会報係
◇住所氏名・卒業期・電話番号・出来れば関係写真・顔写真
◇メ切期日・毎年一月末日迄
協賛金・学校債の返還について

ただいま25・32期生の協賛金・学校債の返還を行っております。

詳細は学校事務局まで
(電)〇三三八一三三七三五四
月一土一〇〇〇AM一五〇〇PM

日本指圧専門学校 同窓会平成二年度決算書

(自平成2年4月1日
至平成3年3月31日)

収入の部

科目	内 訳	二年度予算	二年度決算
会費	終 身 会 費	1,260,000	1,250,000
事業	總會懇親会費	700,000	1,248,000
雑収入	預 金 利 息	50,000	75,245
	そ の 他	50,000	728,426
	計	100,000	803,671
		2,060,000	3,301,671
	前年度より繰越	1,753,147	1,753,147
	収 入 総 計	3,813,147	5,054,818

支出の部

科目	内 訳	二年度予算	二年度決算
会議費	総 会 費	1,000,000	1,279,004
	役 員 会 費	20,000	38,574
	計	1,020,000	1,317,578
事業費	会報発行費	1,000,000	1,009,740
	会員名簿費	50,000	65,000
	計	1,050,000	1,074,740
本部費	人 件 費	10,000	0
	通 信 費	100,000	101,974
	印 刷 費	100,000	61,900
	渉 外 費	200,000	590,763
	交 通 費	50,000	6,000
	慶 弔 費	50,000	20,000
	事務用品費	20,000	11,267
	雑 費	10,000	0
	計	540,000	791,904
	予 備 費	200,000	0
	支 出 合 計	2,810,000	3,184,222
	次年度繰越	1,003,147	1,870,596
	支 出 総 計	3,813,147	5,054,818

決算付記

収入の部

○終身会費

三四期生

A組 六七名分
B組 五八名分

(一人当一万円)

○寄付金

一五期荒川リキ殿

創立五〇周年記念実行委員会より

会報発行補助金

他に援助金

十万円

○總會懇親会費

八千円×一二九名

○総会ご祝儀

八名の諸先生から

八八、〇〇〇円

支出の部

○会報発行費

九号発送費

十号印刷費

四、一五〇部

四、八〇〇部

○渉外費

浪越徳治郎理事長校長退任記念品

浪越徹先生校長就任祝

山内貞四郎会長退任記念品

石垣惟一副校長叙勲祝

井沢正先生葬儀生花代

指塚供養生花代

体育祭協賛金

三三期卒業生表彰賞品代

慶弔費

一期相沢君江氏都民功労賞受賞祝

一次年度繰り越しの内訳

貸付信託

郵便貯金

一、七二〇、三七〇円

一五〇、二二六円

平成三年三月三十一日

会 計 委 員 青 木 宏

協賛金賛助者ご芳名

◆平成二年度賛助金総額

(平成二年十二月二十四日現在)

一〇二件

三三九、〇〇〇円

◇年度別入金額と累計

昭和六〇年度(九五件)

四四三、〇〇〇円

(郵便振手数料 五、四五〇円)

昭和六一年度(八四件)

三三〇、四〇〇円

(郵便振手数料 四、一四〇円)

昭和六二年度(一〇九件)

四三二、七八〇円

(郵便振手数料 四、三二〇円)

昭和六三年度(一二二件)

四一八、〇四〇円

(郵便振手数料 五、一四〇円)

平成元年度(一一一件)

五〇九、五〇〇円

(郵便振手数料 五、八八〇円)

平成二年度(一一一件)

三七九、〇〇〇円

(郵便振手数料 七、七五〇円)

六カ年合計(六五一件)

二、四九〇、七二〇円

(郵便振手数料三、一六七〇円)

◆平成二年度協賛金賛助者御芳名

御芳名掲載をもって御協賛の御礼と領

収の証とさせていただきます。

○一万二千元 (一件) 〇田代和平

○一千元 (九件) 〇白川昭子 〇田端哲郎

〇小峯俊夫 〇浜中喜美子 〇井上征夫 〇

高野助 〇井尾栄 〇田島市五郎 〇須戸

美如 〇

〇八千元 (三件) 〇坂本明子 〇山岡祥宏

〇八千元 (三件) 〇坂本明子 〇山岡祥宏

〇七千元 (一件) 〇小山福松 〇

〇六千元 (一件) 〇嘉義了久 〇

〇五千元 (十九件) 〇相沢君江 〇佐藤栄

江子 〇石原博司 〇根岸とき枝 〇福沢司

津江 〇真間時男 〇工藤てる 〇田中保 〇

齊藤良知 〇森尻英子 〇小川久子 〇横関

勇 〇西千鶴子 〇横尾益夫 〇沢畑碩亮 〇

〇山内貞四郎 〇小沢春枝 〇片岡弘昌 〇

〇小林カノエ 〇

〇三千元 (十八件) 〇川上春治 〇五艘健

次 〇赤沢えい 〇野口幸子 〇前川磯文 〇

野口吉広 〇山内澄子 〇戸来みや子 〇中

沢要蔵 〇永井節 〇舟島正八 〇小美濃隆

〇渡辺あき子 〇胡桃愛子 〇西岡大介 〇

〇古谷真人 〇〇水岡道三 〇荒川シヅ 〇

〇二千元 (四十二件) 〇定祐寅 〇一 〇松本

一雄 〇持木光子 〇鈴木孝雄 〇鈴木林三 〇

〇相馬輝子 〇米津智夫 〇上野欣二 〇鈴木

好雄 〇伊村廣 〇安倍和夫 〇山田滋 〇

〇金橋寿郎 〇林五郎 〇大村幸人 〇宮田経

子 〇西井一志 〇〇谷島幸子 〇藤田和子

〇〇船田弘子 〇石垣惟一 〇佐藤岩治郎 〇

〇佐藤一美 〇藤井正弘 〇大西寿 〇浪越満

都子 〇高橋和子 〇国田イト子 〇小林秋

朝 〇北条喜久 〇木下誠 〇山川鶴吉 〇

〇青木宏 〇佐藤玄祥 〇江戸妙子 〇藤田一

彦 〇藤原富士衛 〇前原芳子 〇山田明信

〇近藤くに子 〇川原善次郎 〇今野晴仁 〇

〇一千元 (七件) 〇三好英子 〇与沢義江

〇〇石原雪江 〇原啓二 〇林なを 〇高木

洋江 〇三橋慶 〇

(副会長 上野欣二記)



創立五十周年記念事業

決算報告

自 平成元年8月1日
至 平成2年9月12日



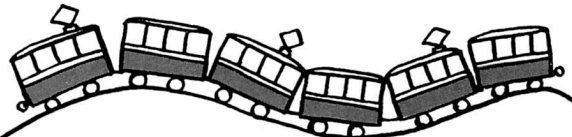
〔収入の部〕	52,824,796 円
協賛金	37,350,000 円
祝賀会	13,886,000
レプリカ代	1,155,000
祝賀金	210,000
受取利息	96,067
雑収入	127,729
合計	52,824,796
〔支出の部〕	52,824,796 円
胸像建立一式	5,453,000 円
レプリカ代	7,647,458
式典、祝賀会一式	29,730,780
印刷代	5,376,736
交通費	1,294,790
通信送料	1,843,270
アルバイト料	917,106
事務用品	22,685
会議費	135,483
雑費	403,488
合計	52,824,796

平成2年9月

上記の通り御報告申し上げます。

五十周年記念実行委員会

委員長	山内貞四郎 印	予算委員長	小山 福松 印
予算委員	佐々木重雄 印	予算委員	上仲 誠夫 印
実行委員	小林 秋朝 印	監査委員	小林彦太郎 印
"	上野 欣二 印	"	青木 宏 印



日本指圧専門学校 同窓会
平成三年度

通常総会・懇親会

左記により同窓会総会並びに懇親会を開催いたしますので、御出席下さいませようご案内いたします。

日本指圧専門学校同窓会会長 石垣 惟一

記

一、とき 平成三年六月二十三日(日)

一、ところ 茗溪会館(電・〇三―三九四三―〇三二一)
(地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅下車徒歩一分)

一、内容 総会(一・〇〇―二・二〇) 記念講演 「栄養学」

一、会費 懇親会(二・三〇―四・〇〇) 八、〇〇〇円(当日可)

一、申込 同封の振込用紙で会費を前納して頂きますと受付事務混雑が防げますので御協力をお願い致します。同封の申込はがき(切手不要)に出欠を明らかにして六月十七日までに必着でご投函下さい。

日本指圧専門学校講師 内藤 敬子先生

決算付記

平成二年四月六日付中間決算報告 (会報九号掲載)

▽予備費 ①九四、九三四円

平成二年1/4日1/2日まで(残務整理)

▽雑収入② 一二七、七二九円

(レプリカ四基販売〓七二、〇〇〇円、伊藤清氏協賛金〓五〇、〇〇〇円、受取利息〓五、七二九円)

▽支出③ 一一一、一二二円

(事務用品、打合せ費、其他雑費)

▽最終残金①+②-③ 一一〇、五四二円

(「雑費」項目より同窓会援助金として寄付 1/2日)

▽同窓会への援助・寄附金 二七〇、六八四円

会報等印刷補助 二四七、二〇〇円

会報別冊名簿 一一〇、五四二円

残金寄付(1/2) 一一〇、五四二円

編集後記

▼平成二年度は母校、同窓会にとって、創立五十周年の歴史の重みを踏まえた再出発の第一年目となった。浪越徹新校長は卒業式で、卒業生一人々に証書を握り握手で手渡され、同窓会では、石垣惟一先生が新会長に選出就任された▼浪越徹校長先生の還暦を祝う会、徹先生には喜びと新出発への決意の佳日となり、徳治郎先生には家族全員と門下生に囲まれた中で息子新校長の盛大な還暦祝いを迎えることができて、その喜びと安堵は更にひとしお、来年先生米寿のお祝いは盛大に行い、此お喜びを倍加させたいもの▼平成二年度叙勲の栄に輝いた石垣惟一先生と相沢君枝・加藤つづ両先生の都民功労賞受賞はその道に生涯を賭けられた先生方の生きざまへの証▼あはき法講習会解説と全国協議会一覽の掲載は、石垣先生が「全国卒業生の参考になれば」と会報掲載を夙に説いた原稿も早や早やと下されたもの、感激多謝▼浪越満都子先生の出版おめでと。先生の技量と経験からすれば何の不思議もなし、しかし初の女性出版としてまさに壮挙。心からお祝いし好評を祈りたい▼財政難故に十年間発行できなかった同窓会会員名簿。「百年河清を待つ」の喩あり、今年度発行に踏み切る。窮状御賢察のうえ絶大な御支援を▼会報編集長の後任を小林秋朝先生から引き継ぐ浅学非才。乞絶大御教示・御支援。

会報編集委員長

上野 欣二